

事後評価結果

定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況			
<p>通学路において、安全対策が必要な箇所などの要対策箇所を教育委員会や県警と連携し抽出し、本計画の各事業で整備を行った結果、本計画の定量的指標である「広島県内の子どもの交通事故件数減少割合」、「通学路の要対策箇所のうち、対策済の増加」に対して、目標を達成することができた。</p>			
定量的指標の達成状況			
指標①広島県内の子どもの交通事故件数減少割合			
最終目標値	6.5%	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り通学路の整備を進めたことに加え、教育委員会や県警と連携し、通学路交通安全対策を総合的に推進したことで、大幅に交通事故件数が減少し、目標を達成した。
最終実績値	46.5%		
指標②通学路の要対策箇所のうち、対策済の増加			
最終目標値	24.3%	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り通学路の要対策箇所の対策を進めた結果、57箇所完成し目標値を達成した。
最終実績値	32.2%		
特記事項（今後の方針等）			
<p>目標達成に向け、交通安全プログラムや広島県道路整備計画2016に基づき、要対策箇所を計画的かつ重点的に整備を行った結果、広島県内の子どもの交通事故件数も大幅に減少した。引き続き、「広島県道路整備計画2016」の7つの施策の柱である「広域的な交流・連携基盤の強化」、「集客・交流機能の強化」、「災害に強い道路ネットワークの構築」、「総合的な交通安全対策の推進」、「持続可能なまちづくりに資する道路整備」、「道路機能の有効活用」、「道路施設の適正な維持管理」について、選択と集中を徹底し、道路整備に関わる地域課題の解決に向け、着実な道路整備を推進していく。</p>			